

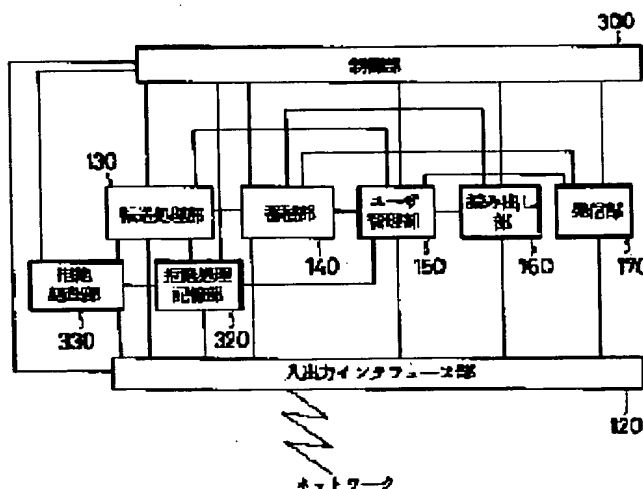
## ELECTRONIC MAIL REPEATING MONITOR CONTROLLER

Patent number: JP10322384  
 Publication date: 1998-12-04  
 Inventor: YAMAGAMI TOSHIHIKO  
 Applicant: NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE  
 Classification:  
 - international: H04L12/54; H04L12/58; G06F13/00  
 - european:  
 Application number: JP19970126040 19970515  
 Priority number(s): JP19970126040 19970515

Report a data error here

## Abstract of JP10322384

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To identify a message which is not to be received, to stop the distribution of the message or temporarily accumulate it by monitoring the repeating of an electronic mail storing a condition for distribution stop or temporary accumulation and stopping the distribution of the electronic mail matched to the condition or temporarily accumulating it. **SOLUTION:** It is assumed that a user uX desires to deny mail reception from a transmitter uP. When an input/output interface part 120 receives the mail to the user uX at that time, it is judged by a denial processing part 330 through a transfer processing part 130 with the instruction of a control part 300. The denial processing part 330 inspects the address of the mail with the instruction of the control part 300, extracts the address uX and the transmitter uP. The denial processing part 330 stops distribution of registered information which is desired to be denied. When the recording of the transmitter, reception date/time and a message size is designated, they are judged. The denial processing part 330 records them with the instruction of the control part 300, sends a distribution stop signal to a transfer processing part 130 and stops mail distribution.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Best Available Copy

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-322384

(43)公開日 平成10年(1998)12月4日

(51)Int. Cl.<sup>6</sup>  
H 0 4 L 12/54  
12/58  
G 0 6 F 13/00 3 5 1

F I  
H 0 4 L 11/20 1 0 1 B  
G 0 6 F 13/00 3 5 1 G

審査請求 未請求 請求項の数 3

O L

(全5頁)

(21)出願番号 特願平9-126040

(22)出願日 平成9年(1997)5月15日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72)発明者 山上 俊彦

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本

電信電話株式会社内

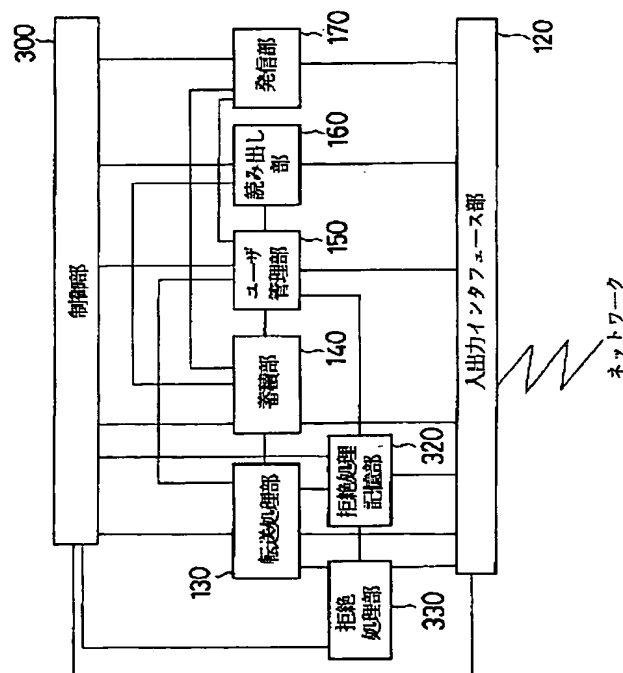
(74)代理人 弁理士 三好 秀和 (外1名)

(54)【発明の名称】 電子メール中継監視制御装置

(57)【要約】

【課題】 受け取りたくないメッセージを識別し、該メッセージの配送停止または一時蓄積を行う電子メール中継監視制御装置を提供する。

【解決手段】 配送停止または一時蓄積を行う条件を拒絶処理記憶部320に記憶しておき、該拒絶処理記憶部320に記憶された条件に合致する電子メールの配送を拒絶処理部330によって停止または一時蓄積する。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電子メールの中継を監視し、配送不要な電子メールの当該宛先端末への配送を停止または一時蓄積する電子メール中継監視制御装置であって、配送停止または一時蓄積を行う条件を記憶する拒絶処理記憶部と、該拒絶処理記憶部に記憶された前記条件に合致する電子メールの配送を停止または一時蓄積する処理を行う拒絶処理部とを有することを特徴とする電子メール中継監視制御装置。

【請求項 2】 配送停止処理を行うに当り、当該宛先端末が存在しない旨を発信元に通知する手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の電子メール中継監視制御装置。

【請求項 3】 配送停止処理を行うに当り、当該宛先端末が予め指定した特定のメッセージを発信元に通知する手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の電子メール中継監視制御装置。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子メールの中継を監視し、配送不要な電子メールの当該宛先端末への配送を停止または一時蓄積する電子メール中継監視制御装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の電子メール装置は、図 3 に示すように構成され、ネットワークからの転送メッセージを受け付けると、入出力インタフェース部 120 が制御部 100 の指示により、転送処理部 130 へ当該メッセージを送信する。受信後、転送処理部 130 は制御部 100 の指示により、ユーザ管理部 150 より当該ユーザの情報蓄積領域情報を読み出し、当該情報に応じて、蓄積部 140 の所定の領域にメールを蓄積せしめる。当該ノード上にない場合は、制御部 100 の指示により転送処理部 130 は当該メールを入出力インタフェース部 120 を介してネットワーク上の対応するノード、あるいは中継ノードへと転送する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】電子メール利用者は日本でも 300 万人を越えたといわれる。このように広まってくると、不要なダイレクトメール、チェーンメール、不幸の手紙など、不要なメッセージが面識のない団体や個人から突然送られてくることも少なくない。

【0004】このような状況において、従来の技術では、発信者のアドレスに基づいて、配送を制御する機能が十分でない欠点があった。

【0005】本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、受け取りたくないメッセージを識別し、該メッセージの配送停止または一時蓄積を行う電子メール中継監視制御装置を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項 1 記載の本発明は、電子メールの中継を監視し、配送不要な電子メールの当該宛先端末への配送を停止または一時蓄積する電子メール中継監視制御装置であって、配送停止または一時蓄積を行う条件を記憶する拒絶処理記憶部と、該拒絶処理記憶部に記憶された前記条件に合致する電子メールの配送を停止または一時蓄積する処理を行う拒絶処理部とを有することを要旨とする。

【0007】請求項 1 記載の本発明にあつては、配送停止または一時蓄積を行う条件を記憶しておき、該条件に合致する電子メールの配送を停止または一時蓄積することにより受け取りたくないメッセージの受信を拒否している。

【0008】また、請求項 2 記載の本発明は、請求項 1 記載の発明において、配送停止処理を行うに当り、当該宛先端末が存在しない旨を発信元に通知する手段を有することを要旨とする。

【0009】請求項 2 記載の本発明にあつては、当該宛先端末が存在しない旨を発信元に通知することにより配送停止処理を行う。

【0010】更に、請求項 3 記載の本発明は、請求項 1 記載の発明において、配送停止処理を行うに当り、当該宛先端末が予め指定した特定のメッセージを発信元に通知する手段を有することを要旨とする。

【0011】請求項 3 記載の本発明にあつては、当該宛先端末が予め指定した特定のメッセージを発信元に通知することにより、配送停止処理を行う。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施の形態について説明する。

【0013】図 1 は、本発明の一実施形態に係る電子メール中継監視制御装置の構成を示すブロック図である。同図に示す電子メール中継監視制御装置は、電子メールの中継を監視し、配送不要な電子メールの当該宛先端末への配送を停止または一時蓄積する装置であり、全体の動作を制御する制御部 300、配送停止または一時蓄積を行う条件を記憶する拒絶処理記憶部 320、該拒絶処理記憶部 320 に記憶された条件に合致する電子メールの配送を停止または一時蓄積する処理を行う拒絶処理部 330、該拒絶処理部からの配送中止信号により電子メールの配送を中止する処理などを制御する転送処理部 130、情報を蓄積する蓄積部 140、ユーザを管理するユーザ管理部 150、蓄積部に記憶されている情報を読み出す読み出し部 160、発信処理を行う発信部 170、ネットワークとのインタフェースを行う入出力インタフェース部 120 から構成されている。

【0014】このように構成される電子メール中継監視制御装置において、例えば利用者 uX が、発信者 uP からのメールを受信拒絶したいとする。また記録として

は、発信者と受信日時とメッセージサイズを記録したい

とする。

【0015】この時は予め、拒絶処理記憶部320に、uXと、uPと、{発信者、受信日時、メッセージサイズ}と、配送停止を記憶せしめる。

【0016】なお、この指定は、配送したい発信者だけを指定し、それ以外のすべての発信者についてメールを一時蓄積するというような指定をすることは容易に類推できる。

【0017】動作においては、入出力インタフェース部120がこのメールアドレスuXへのメールを受信した場合、制御部300の指示により、当該メールは、転送処理部130へ送信される。転送処理部130は当該メールを拒絶処理部330へ送信して判定せしめる。拒絶処理部330は制御部300の指示により当該メールの宛先を精査し、宛先uXと発信者uPを抽出する。抽出後、拒絶処理部330は{uX, uP}を予め登録された情報とつぎあわせ、配送停止し、{発信者、受信日時、メッセージサイズ}を記録することが指定されていることを判定する。拒絶処理部330は制御部300の指示により、{発信者、受信日時、メッセージサイズ}を記録し、転送処理部130へ配送中止の信号を送信する。受信後、転送処理部130は当該メールの配送を中止する。

【0018】ここで、処理が配送停止となっていない場合、例えば、uQからのメールが配送停止になっていない\*

```
*****
**          THIS IS A WARNING MESSAGE ONLY          **
**    YOU DO NOT NEED TO RESEND YOUR MESSAGE    **
*****
```

The original message was received at Mon.3 Mar 1997 17:44:23+0900(JST)  
from demeter.mbd.nit.co.jp [10.44.44.13]

..... The following addresses had transient non-fatal errors .....

<uuu@sss.co.jp>

(発信されてきたメッセージを以下に添付する)

あるいは次のようなメッセージである。

..... The following addresses had permanent fatal errors .....

<uuu@sss.co.jp>

(発信されてきたメッセージを以下に添付する)

..... Transcript of session follows.....

550 <uuu@sss.co.jp>...Host unknown(Name server:sss.co.jp.:  
no data known)

また、配送中止以外に、予め発信者名対応に指定された第三者へ証拠としてメッセージを回送することもでき

\*い場合には、拒絶処理部330は判定後、配送の信号を制御部300の指示により、転送処理部130へ送信する。

【0019】ここで配送中止条件を特定のユーザ名だけではなく、例えば、国名や組織名などのドメイン名などのようなものやそれについての条件式で記述することも容易に類推できる。本情報は、拒絶処理記憶部320に記憶することができる。

【0020】また、配送中止以外に、例えば、予め発信者対応に指定した特定のメッセージを発信先に送付することも指定できる。これは、例えば、抗議のメッセージであったり、受け取れない旨を示したメッセージとすることができる。制御部300の指示により、拒絶処理部330は当該メッセージを作成し、転送処理部130を介して発信する。

【0021】また、配送中止以外に、発信人が存在しないというシステムが発生するメッセージを送ることができ。このメッセージを送信するには、受信したメッセージの封筒部を解析し、相当するシステムメッセージを封筒に添付して回送する。制御部300の指示により、拒絶処理部330は当該メッセージを作成し、転送処理部130を介して発信する。

【0022】メッセージは以下のようなものである。

【0023】

る。制御部300の指示により、拒絶処理部330は、転送処理部130を介して発信する。

【0024】本発明がソフトウェアによっても実現できることは容易に類推できる。拒絶処理記憶部への登録を、例えば、受信したメッセージを特定の記憶領域に保存することによって、その記憶領域の内容から自動的に学習して登録することも容易に類推できる。

【0025】また、拒絶内容を記録することによって、どのように受け取りたくないメッセージが送られてきているかを利用者自身のメールボックスに蓄積することなく記録することが可能である。

【0026】また、上記処理において、配送停止条件などに合致した電子メールの配送を停止または一時蓄積したり、または特定のメッセージを通知する代わりに、該電子メールの宛先端末が存在しない旨を発信元に通知するように構成してもよい。

【0027】次に、図2のフローチャートを参照して、図1の電子メール中継監視制御装置の作用を説明する。まず、利用者の中継指定を読み込み、利用者の中継指定による中継を開始する（ステップS11、S13）。それから、中継終了の指示が到達したか否かをチェックし（ステップS15）、到着した場合には、処理を終了するが、到着しない場合には、受信した電子メールを1つ取り出し（ステップS17）、該電子メールが中継停止の宛先からの電子メールか否かをチェックする（ステップS19）。中継停止の宛先からのメールでない場合には、該電子メールを中継し転送するが（ステップS29）、中継停止の宛先からの電子メールの場合には、該電子メールを中継しない処理を行い（ステップS21）、更に中継しない処理の履歴を記録する（ステップS23）。それから、中継指示の変更があるか否かをチ

ェックし（ステップS25）、変更がない場合には、ステップS15に戻って、同じ動作を繰り返すが、変更がある場合には、中継指定を変更してから、ステップS15に戻って、同じ動作を繰り返す。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、配送停止または一時蓄積を行う条件を記憶しておき、該条件に合致する電子メールの配送を停止または一時蓄積するので、受け取りたくない不要なメッセージの受信を拒否することができる。

【0029】また、本発明によれば、当該宛先端末が存在しない旨を発信元に通知したり、または特定のメッセージを発信元に通知するので、不要なメッセージが送信されてくるのを低減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る電子メール中継監視制御装置の構成を示すブロック図である。

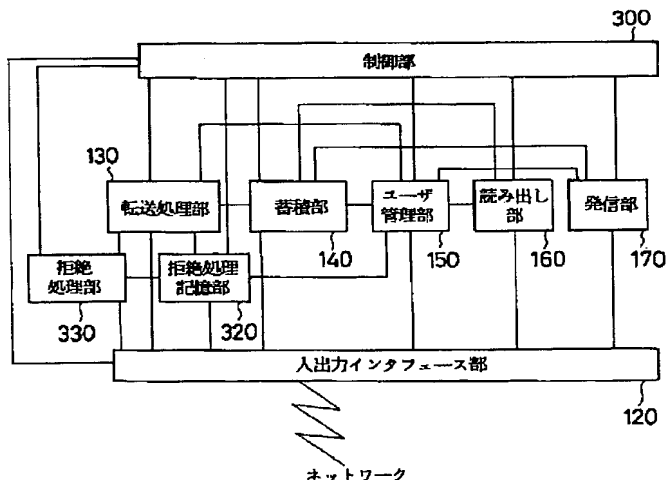
【図2】図1に示す電子メール中継監視制御装置の作用を示すフローチャートである。

【図3】従来の電子メール装置の構成を示すブロック図である。

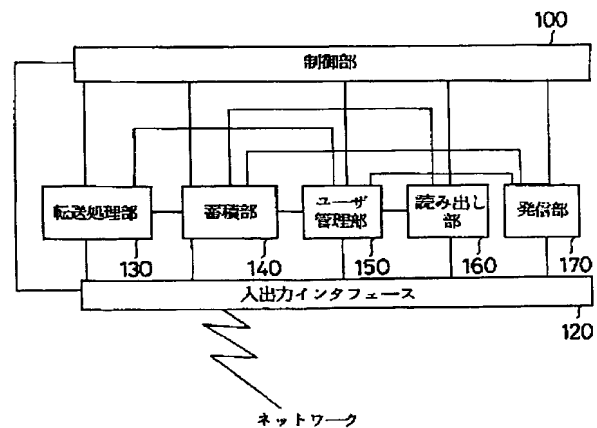
【符号の説明】

130 転送処理部  
140 蓄積部  
150 ユーザ管理部  
300 制御部  
320 拒絶処理記憶部  
330 拒絶処理部

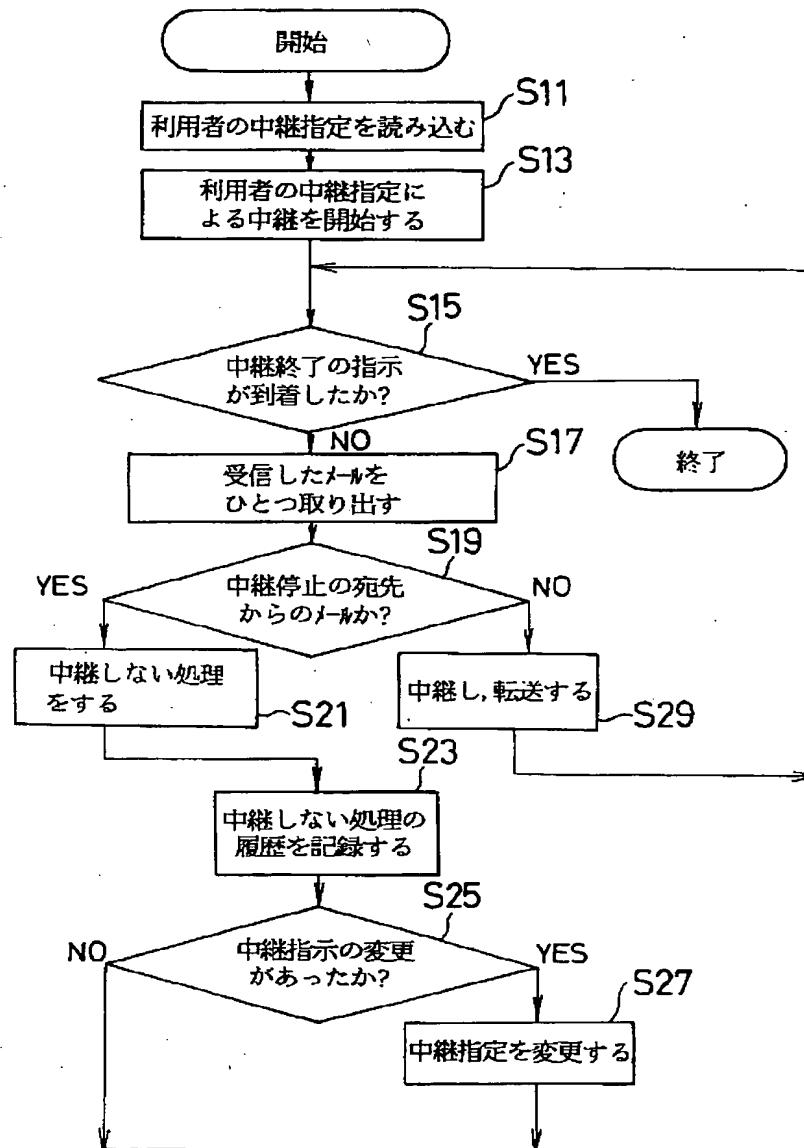
【図1】



【図3】



【図2】



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**